

特別展

# 武家のみやび

## —初代一関藩主 田村建顕と和歌—

共催：国文学研究資料館、同志社大学

初代一関藩主田村建顕<sup>たけあき</sup>は、外様大名伊達氏の分家大名ながら、幕府奏者番<sup>そうじやばん</sup>の要職を長く勤めており、忠臣蔵<sup>ちゆうしんぐら</sup>で知られる浅野内匠頭<sup>あしのたくみのかみ</sup>の切腹に関わった事は有名です。一関藩では、学問立藩の構想を描いた理想の藩主として尊敬されました。その建顕、実は歌人としても名高く、和歌を通じて公家と交わり、その人脈がまた彼の栄達<sup>えいたつ</sup>を支えました。元禄時代の和歌を巡る人々の交流、武家の社会にみる京のみやびを紹介します。

会期 9月19日<sup>①</sup>～11月23日<sup>②</sup>

※会期中展示替があります

入館無料日 9月19日<sup>①</sup>展覧会初日、10月6日<sup>③</sup>～12日<sup>④</sup>開館記念ウィーク、  
10月31日<sup>⑤</sup>・11月1日<sup>⑥</sup>東北文化の日、11月3日<sup>⑦</sup>文化の日

### 関連行事

#### ■一関藩田村家セミナー

日時／10月11日<sup>⑧</sup> 13:30～16:00  
講師① 大山和哉氏（同志社大学准教授）  
講師② 大谷俊太氏（京都女子大学教授）  
講師③ 当館学芸員  
定員100名、参加無料、要電話申込

#### ■講座 和歌に親しむ（仮）

日時／11月1日<sup>⑨</sup> 13:30～15:00  
講師 御手洗靖大氏（宮城教育大学講師）  
定員100名、参加無料、要電話申込

#### ■ギャラリートーク

- 10月10日<sup>⑩</sup> 14:00～14:45  
加藤弓枝氏（名古屋大学准教授）  
渡邊美希氏（東京工業高等専門学校助教）
  - 10月11日<sup>⑪</sup> 16:10～16:40  
大山和哉氏（同志社大学准教授）  
大谷俊太氏（京都女子大学教授）  
当館学芸員
  - 11月1日<sup>⑫</sup> 15:15～16:00  
日高愛子氏（熊本大学准教授）  
渡邊美希氏（東京工業高等専門学校助教）
- 入館料必要、申込不要

## 企画展

企画展  
1

# Museum Bird —資料の中の鳥とりどり—

4月18日④～6月7日④

会期 入館無料日 4月18日④、  
5月16日④、17日④

館蔵資料を中心に鳥が描かれたものや、かたどられたものを、考古・歴史・民俗・美術のジャンルを超えて紹介します。

### 【関連行事】

#### ■展示解説会

日時／4月18日④ 13:30～14:10  
5月3日④⑤ 13:30～14:10  
5月4日④⑤ 13:30～14:10  
6月6日④ 13:30～14:10

入館料必要、申込不要



#### 😊 ■ワークショップ 「土の絵の具であそぼう」

日時／5月16日④ 10:00～12:00  
5月17日④ 10:00～12:00

内容／日本画に用いる土の絵の具を使って、鳥の下絵に色を付けます。

講師／菊池咲氏（画家）

定員各15名、参加料100円、電話申込必要

企画展  
2

# 熊野信仰と一関 —海からやってきた神様—

7月4日④～8月23日④

会期 入館無料日 7月4日④

国の重要無形民俗文化財「室根神社祭のまつり行事」の開催に合わせ、熊野信仰の伝播という視点から、当地域の文化が海とのつながりの中でいかにして形成されたかを紹介します。

### 【関連行事】

#### ■講演会① 中世陸奥国における熊野信仰の広がり

日時／7月19日④ 13:30～15:00  
講師／七海雅人氏（東北学院大学文学部教授）  
定員50名 参加無料 電話申込必要

#### ■講演会② 中世の室根—信仰・交通・領主権力—

日時／8月16日④ 13:30～15:00  
講師／当館学芸員  
定員50名、参加無料、電話申込必要

#### ■展示解説会

日時／7月19日④ 15:10～16:00  
8月2日④ 15:10～16:00  
8月16日④ 15:10～16:00

入館料必要、申込不要

#### ■現地見学会

一関市内に残る熊野神社をめぐり、信仰の伝播という視点から内陸と海の交流の在り方を現地で当館学芸員が解説します。

日時／7月5日④（時間未定）

定員20名、電話申込必要

企画展  
3

# 佐藤紫煙と知られざる泰斗 滝和亭 ～日本画家ふたりの下絵～

会期 1月23日④～3月22日④⑤

入館無料日 1月23日④

一関出身の日本画家 佐藤紫煙（1873～1939年）と、紫煙の師である滝和亭（1830～1901年）の下絵を紹介します。紫煙が和亭から受けた影響やふたりの筆遣いの違い、下絵ならではののびやかな描写をご覧ください。完成作品とは異なる味わいをお楽しみください。

### 【関連行事】

#### ■スペシャルギャラリートーク・対談&実演 ～令和の日本画家はどう見る？ふたりの下絵～

日時／3月7日④ 13:30～15:00

講師／日野沙耶氏（日本画家）

当館学芸員

定員15名 参加無料 電話申込必要

#### ■ギャラリートーク

日時／1月24日④、2月20日④、3月21日④

各回13:30～14:10

入館料必要 申込不要

## 講座

### 館長講座

#### ① 仏教都市平泉と磐井郡の仏

日時／6月21日④ 13:30～15:00

#### ② 「海の道」と中世の神仏

日時／8月2日④ 13:30～15:00

#### ③ 中尊寺供養願文を読む

日時11月15日④ 13:30～15:00

#### ④ 松川の阿弥陀迎接像と楽の世界

日時／3月28日④ 13:30～15:00

講師／菅田慶信（当館館長）

定員各回50名 参加無料 電話申込必要



館長 菅田慶信

### 和算講座—研究編—（連続講座）

一関の和算家千葉胤秀が編集した『算法新書』の解説を通して和算を学ぶ連続講座です。

日時／15/30④、26/27④、37/25④、  
48/22④、59/19④、610/17④、711/14④  
各回10:30～12:00

定員24名 参加料／300円（初回のみ） 電話申込必要

### 和算講座 入門編

和算の基本や歴史について、わかりやすく解説します。

#### ① 単位の話

講師／当館学芸員

7月25日④ 13:30～15:00

#### ② 和算の解き方『点算術』で小中学生程度の問題を解く

講師／千葉秀昭氏（岩手県和算研究会）

8月8日④ 13:30～15:00

#### ③ 和算家と和歌・俳句

講師／菅原通氏（岩手県和算研究会会長）

8月22日④ 13:30～15:00

定員各回24名 参加無料 電話申込必要



ねずみ算『塵却記』より

山口和の道中日記を読む—東北編— (連続講座)

千葉胤秀と親交をもった遊歴和算家山口和。山口和の道中日記から東北を旅した記録を読む講座です。

日時/1)9/19☎、2)10/17☎、3)11/14☎  
各回 13:30~15:00

講師/当館学芸員  
定員各回 24名 参加無料 電話申込必要



紙の文化史—入門編— (連続講座)

和紙や洋紙など身のまわりにある紙について、科学的な特徴や歴史を解説します。

日時/1)6/6☎、2)6/13☎  
各回 10:30~12:00

講師/当館学芸員  
定員 24名 参加無料 電話申込必要



ミツマタの花

超初心者のための絵の見方

絵画鑑賞初心者のみなさんを募集します。学芸員と一緒に絵を見て楽しみませんか。今年度は、絵に秘められた物語を読み解きながら、学芸員の仕事の一端を紹介します。

1) 日本画編「眼光鋭い小鳥と、身を隠すカミキリムシ」の絵 (佐藤紫煙) を読み解く

日時/2月20日☎ 10:30~11:30

2) 洋画編「肩に籠を乗せた筋肉隆々の半裸の男たち」の絵 (森本仁平) を読み解く

日時/3月20日☎ 10:30~11:30

講師/当館学芸員  
定員各回 10名程度 参加無料 電話申込必要



絵画資料からみる熊野信仰 (連続講座)

絵画資料から熊野信仰について知る初心者向けの講座です。

日時/1)7/18☎、2)8/15☎ 各回 10:30~12:00

講師/当館学芸員  
定員各回 24名  
参加無料、電話申込必要

古文書初心者講座 (連続講座)

はじめて古文書を学ぶ人を対象に、江戸時代の古文書を教材としてくずし字や古文書の基礎知識を学ぶ連続講座です。

日時/1)5/30☎、2)6/13☎、3)6/27☎  
各回 13:30~15:00

講師/当館学芸員  
定員 24名(初心者に限ります)  
参加料 300円(初回のみ)、電話申込必要

古文書講座 (連続講座)

当館所蔵の古文書を題材として、江戸時代の古文書の解説の仕方、そこからわかる歴史について学びます。

日時/1)9/20☎、2)10/4☎、3)10/18☎  
各回 13:30~15:00

講師/当館学芸員  
定員 24名  
参加料 300円(初回のみ)、電話申込必要

重要文化財「大槻家関係資料」研究報告会

学問の家大槻家に関する最新の研究成果を報告します。

テーマ 大槻玄沢と本草・博物

- 講演/大槻玄沢と本草学  
講師/平野恵氏(台東区立中央図書館専門員・洋学史学会会長)
- 報告①/「タバコとエブリコ 一葉への関心」  
講師/菊池勇夫氏(前当館館長)
- 報告②/「チューリップをめぐる」  
講師/当館学芸員

日時/11月3日☎文化の日 13:00~16:30

定員 100名 参加無料 電話申込必要

体験学習

はくぶつかんどもくらぶ

当館の展示テーマにちなむ体験学習。親子で楽しもう。

1) こどもくらぶスペシャル

気軽に楽しめる体験やパズル、簡単な工作ができます。大人の方もどうぞ。

体験/昔の遊び、智恵の板、骨寺村絵図パズル

工作/不思議なコップ etc

日時/5月3日☎(祝)~5日☎(祝)  
10:00~15:00 随時

申込不要 材料が無くなり次第終了  
人数を制限する場合があります。



2) こどもくらぶ『舎密開宗』と江戸時代のサイエンス —オリジナル石けんを作ろう—

日時/7月26日☎ 10:30~12:00

内容/『舎密開宗』は、西洋の知識を国内に紹介した江戸時代の化学書で、大槻玄沢の弟子が記しました。オリジナル石けん作りをとおして、江戸時代のサイエンスを体験します。

持ち物/なし 汚れてもいい服装でお越しください。  
定員各回 10名程度 参加料 100円 電話申込必要

博物館でアートを楽しむ 「墨で描こう、春の花」

博物館に親しんでいただくために、美術体験を楽しんでもらおうという催しです。

いよいよ美術振興協会会員を講師に迎えます。

日時/2月21日☎

午前の部 9:00~12:00、午後の部 13:00~16:00

定員各回 15名(小学3年生以上) 参加料 100円  
電話申込必要

和算に挑戦

日本の数学・和算の問題を解いてみよう。初級、中級、上級の問題の解答を募集します。

日程/12月1日☎に問題と応募要領を発表、

郵送で解答を受付けます。

締め切り/1月20日☎ 消印有効

表彰式/3月14日☎ 13:30~15:00

応募者には3月末日までに解答集をお送りします。



一関八幡神社 算額(復元)

←このマークは小学生も参加可能な行事です。その他、行事に関する詳細はお問合せください。

# 常設展示

## 【通史展示】

いちのせき

### ■ 一関のあゆみ 過去から未来への展望

原始・古代から現代まで、地域の歴史の流れと特色を紹介します。中尊寺の経蔵別当領であった骨寺村荘園に関する資料もブースを設けて展示しています。

※経蔵別当  
寺院の経典を収蔵しておく建物を管理・運営する責任者



## 【テーマ展示】

### 1 舞草刀と刀剣 日本刀の源流・舞草刀

日本刀の源流・舞草刀の究明を目指す展示です。日本刀の系譜・実用性・美的価値などを全国的視野に立って系統的に紹介します。



### 2 玄沢と蘭学 蘭学者大槻玄沢の業績

一関藩医建部清庵を師とし、江戸で蘭学の第一人者となった大槻玄沢の生涯と、わが国の近代科学の形成に果たした役割を紹介します。



## 展示解説アプリ 「ポケット学芸員」

ダウンロードはこちらから



### 3 文彦と言海 近代的国語辞書の著者

わが国最初の本格的国語辞書『言海』の著者大槻文彦の人物と業績について紹介します。



### 4 一関と和算 和算隆盛の地一関

一関地方が全国的にも和算隆盛の地であったことを、千葉胤秀とその門弟の活躍を通して紹介します。ゲームで和算を体験することもできます。



### 5 長沼守敬

明治時代に活躍した一関出身の洋風彫刻家、長沼守敬について紹介します。



## 入館料

区分	料金	団体(20人以上)
中学生以下	無料	無料
高校生・大学生	200円	1人につき160円
一般	300円	1人につき240円

※65歳以上の一関市民の方(証明書等提示)と障がい者・介護者の方(身体障害者手帳等提示)は免除されます。

## 共通入場券

有効期間	料金	対象施設
1年間	1,000円	一関市博物館 芦東山記念館 石と賢治のミュージアム 大籠キリシタン殉教公園
10日間	500円	

## 入館無料日

企画展・特別展の初日、国際博物館の日 5/16④、17④、開館記念ウィーク 10/6④~12④⑤、東北文化の日 10/31④、11/1④、文化の日 11/3④。

## 休館日

毎週月曜日(祝日の場合は翌日)  
施設工事等のための休館日 11/24④~12/28④、  
年末年始 12/29④~1/3④

開館時間 9:00~17:00(ただし、入館は16:30まで)

## 交通案内

### ■自動車

一関ICより約7分(5km)  
一ノ関駅より車で約17分(9km)

### ■路線バス

一ノ関駅から約20分(厳美溪バス停下車徒歩7分)



この「年間行事案内」に対するお問合せ、参加申込みは、一関市博物館まで  
<https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/museum/>

一関市博物館 検索

